

ひだまり便り

第52号(平成28年4月号)
特定非営利活動法人
ひだまり
理事長 小関 茂

特定非営利活動法人ひだまり事務所…〒263-0005 千葉県稲毛区長沼町32番地

TEL 043-258-8604 FAX 043-310-5061

E-mail…hidamari@almond.ocn.ne.jp ホームページ…<http://www.hidamari.or.jp>

理事長より

ひだまり理事長 小関 茂

4月に入り新年度が始まりました。3月14日には千葉大学附属特別支援学校の卒業式があり、冷たい雨の中でしたが高等部卒業生10名が企業や福祉事業所など社会に巣立って行きました。毎年参加していますが若い世代の活力に触れて元気を貰っています。

今月のひだまり便りはひだまり主催成年後見セミナー特集として、研修会及び第1回～10回セミナーまでの軌跡を振り返りました。多少は皆様のご参考に役立ちましたでしょうか。

10回目を一つの区切りとして平成28年度は小規模な研修会の形式で複数回の開催を計画いたします。これまでの内容で再度聞きたいという項目があれば、ひだまり事務所までご一報ください。計画の参考にいたします。



第10回成年後見セミナー報告

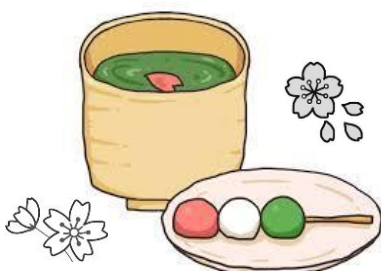
2月27日に第10回目の成年後見セミナーを長沼原勤労市民プラザで開催しました。講師の佐藤彰一氏はPACガーディアンズ前理事長・國學院大學法科大学院教授・弁護士で、日本の障害者権利擁護の第一人者として活躍しておられます。ひだまりでは平成19年の第1回、25年の第7回とこれまで2回お招きし、成年後見制度の成り立ちから変遷についてお話しいただいています。今回のテーマは「転換期を迎えた成年後見制度にどう向き合い、どう利用するか」でした。

2000年に成年後見法が成立し、それまでの禁治産制度に代わり成年後見制度が開始され、同時に高齢者対象の介護保険法も成立して16年が過ぎました。

2014年末時点での統計では、成年後見制度全体の利用者数は18万4670人で、任意後見・補助人・保佐人に比し成年後見人が14万9千人強で大多数が後見人の利用です。後見人になる人は親族が35%で、弁護士を含む第3者が65%を占めそのうち法人後見は5.4%です。

第三者を含め個人による後見には限界があり、組織による法人後見が財産管理上の不安は少ない。しかし見守りや相談はまた別途必要であり、育成会や社会福祉協議会を含む総合的な後見的支援制度の事例が紹介されました。

おやっと思った話ですがご存知の方もいるかもしれません。もし、知的障害を持つ子供が亡くなりその財産を受け継ぐ相続人が誰もいない場合、一定の手続きを経て最終的に国(財務省)に入ることになります。それならば遺言でそのようなケースも想定した財産の用途を指定して置くことが必要な方もいるのではと感じました。



成年後見研修会・セミナーの記録



■ 成年後見研修会 ■

【第1回】平成15年5月 「成年後見制度の開始と要件及び効果について」 「成年後見をしてみて」	武岡福太郎氏 小川裕二氏 橋爪八重子氏	(日本社会福祉士会権利擁護センター 「ばあとなあ千葉」委員長) (小川社会福祉士事務所 所長) (障害児者の将来を守る父の樹会会員)
【第2回】平成20年3月 「成年後見実践講座」	小川裕二氏	(PAC ガーディアンズ理事)
【第3回】平成26年9月 勉強会「意思決定支援とどうつきあうか？」	名川勝氏	(PAC ガーディアンズ副理事長)

■ 成年後見セミナー ■ ～「親なきあとは、親あるうちに」を主題に～

【第1回】平成18年10月 「障害者のよりよい生活と後見」 「コミュニティフレンド活動について」	佐藤彰一氏 名川勝氏	(PAC ガーディアンズ理事長) (PAC ガーディアンズ副理事長)
【第2回】平成19年12月 「成年後見制度を考えるポイント～誰に何を託すのか」 「はじめよう、ひろげよう、コミュニティフレンド」	朝比奈ミカ氏 池上直樹氏・高山幸代氏	(中核地域生活支援センター 「がじゅまる」センター長) (コミュニティフレンド)
【第3回】平成21年1月 「寝過ごさないで・親なきあと 『いずれ』ではなく『今から』」 「この子の記録」作成報告・内容説明	久保田美也子氏 平井紳一氏	(千葉市手をつなぐ育成会会長 PAC ガーディアンズ理事) (父の樹会・ひだまり理事)
【第4回】平成22年1月 「親なきあとの本人の暮らしを考える」 「社会福祉法人むそう」での成年後見制度への 取り組みを紹介 「この子の記録の記入状況と啓蒙」 「父の樹会グループホームアンケート結果報告」	田川正浩氏 平井紳一氏 滝本繁氏	(ひだまり専務理事・父の樹会理事) (父の樹会・ひだまり理事) (父の樹会理事)
【第5回】平成23年1月 「千葉市成年後見支援センターの活動について」 「障害者を支える仕組みについて」	根岸淳一氏 平井紳一氏 田代常光氏・藤原千鶴氏	(千葉市成年後見支援センター長) (父の樹会副会長) (ひだまり理事)
【第6回】平成24年1月 「この子に何を残せますか？ この子の記録の活用」 「相続と遺言」 「エンディングノートについて」 「災害への備えは大丈夫ですか」	平井紳一氏 田代常光氏 高崎由美子氏 小関茂	(父の樹会副会長) (ひだまり理事) (ひだまり理事) (ひだまり理事長)
【第7回】平成25年1月 「成年後見を考える。親なき後、あれこれ。 制度の基本的性格など」	佐藤彰一氏	(弁護士・国学院法科大学院教授)
【第8回】平成26年1月 「千葉市成年後見支援センターの取り組み」 「多様な人々が一緒に暮らす新たな福祉系複合住宅」	石毛秀和氏 小林秀樹氏	(千葉市成年後見支援センター長) (千葉大学工学部教授)
【第9回】平成27年2月 「意思決定支援とどうつき合うか」	名川勝氏	(PAC ガーディアンズ理事長 筑波大学人間総合科学研究科講師)
【第10回】平成28年2月 「転換期を迎えた成年後見制度にどう向き合い どう利用するか」	佐藤彰一氏	(弁護士・国学院法科大学院教授)